

台風11号の雨量、河川水位の状況等について

平成26年8月29日

那賀川河川事務所
徳島県

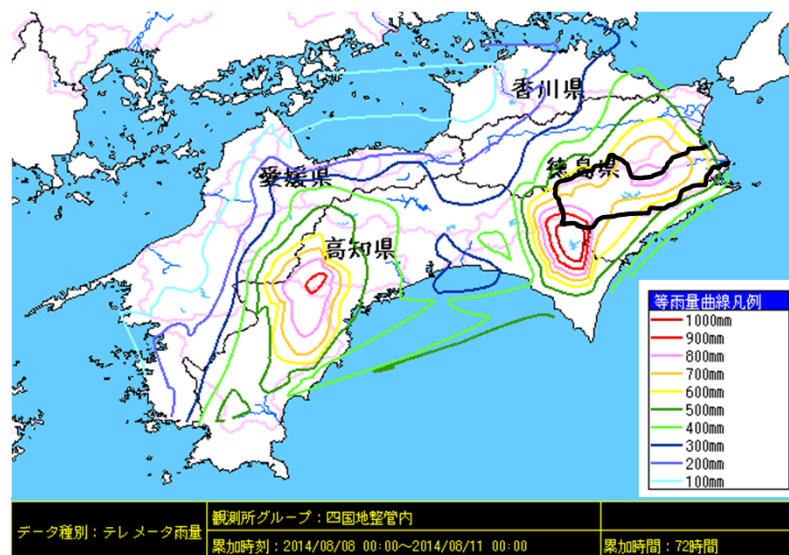
目次

(1) 気象の概要について		1
(2) 降雨の状況について		2
1) 流域の降雨状況		
2) 古庄上流域平均2日雨量		
(3) 河川水位の状況について		4
1) 過去の洪水との比較(古庄観測所、和食観測所)		
2) 河道内の痕跡水位		
3) 水位状況(古庄観測所、和食観測所)		
(4) 河川流量の状況について		8
1) 過去の洪水との比較(古庄観測所、和食観測所)		
(5) 浸水被害の状況について		9
1) 国管理区間		
2) 県管理区間		

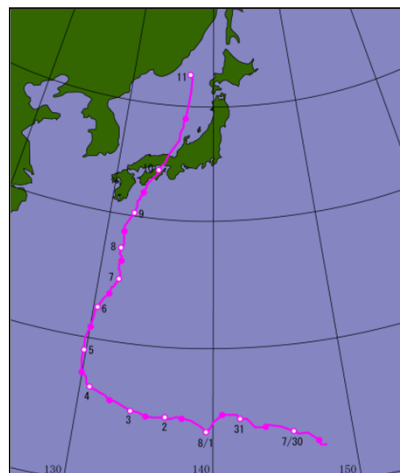
(1) 気象の概要について

7月29日にマリアナ諸島近海で発生した台風第11号は、フィリピンの東海上を発達しながら進み、強い勢力を維持したまま日本の南海上をゆっくりと北上し、10日6時過ぎに高知県安芸市付近に上陸。その後も四国地方をゆっくり北北東に進み、10日10時過ぎに兵庫県赤穂市付近に再上陸、近畿地方を北北東に進み、10日14時前に日本海に抜けた。この台風による猛烈な豪雨により古庄水位観測所では10日10時30分に8.0m（速報値）の観測開始以来、最高の水位を観測。

■台風11号等雨量線図

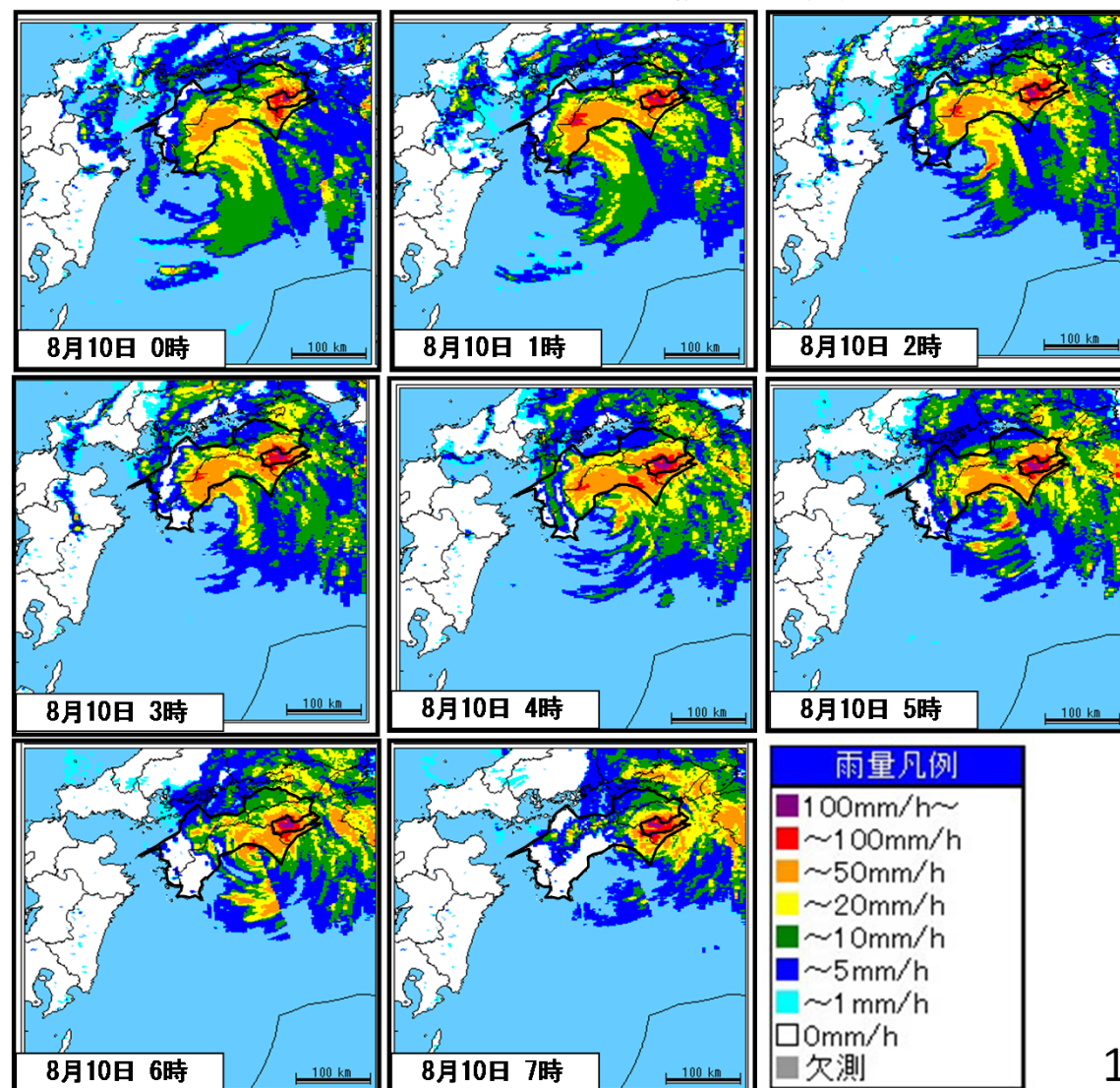


■台風11号進路図(気象庁発表)



■台風11号における那賀川水系那賀川の状況

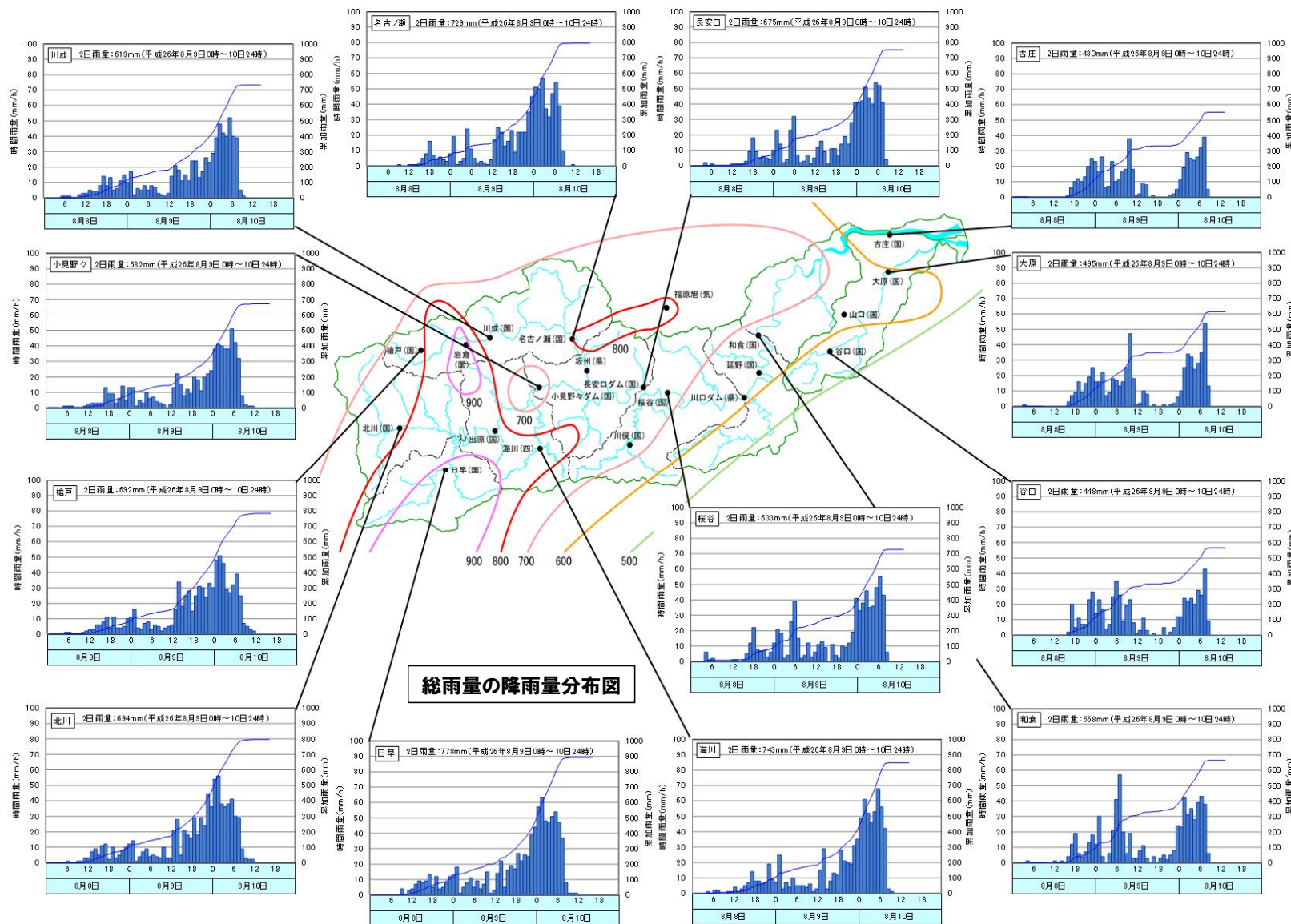
雨量レーダ画像（平成26年8月10日 0:00~7:00）



(2)降雨の状況について

1)流域の降雨状況

上流域約900mm、中流域約700mm、下流域約600mmの降雨を記録。
また、主降雨は同一時間帯(10日未明)に発生。

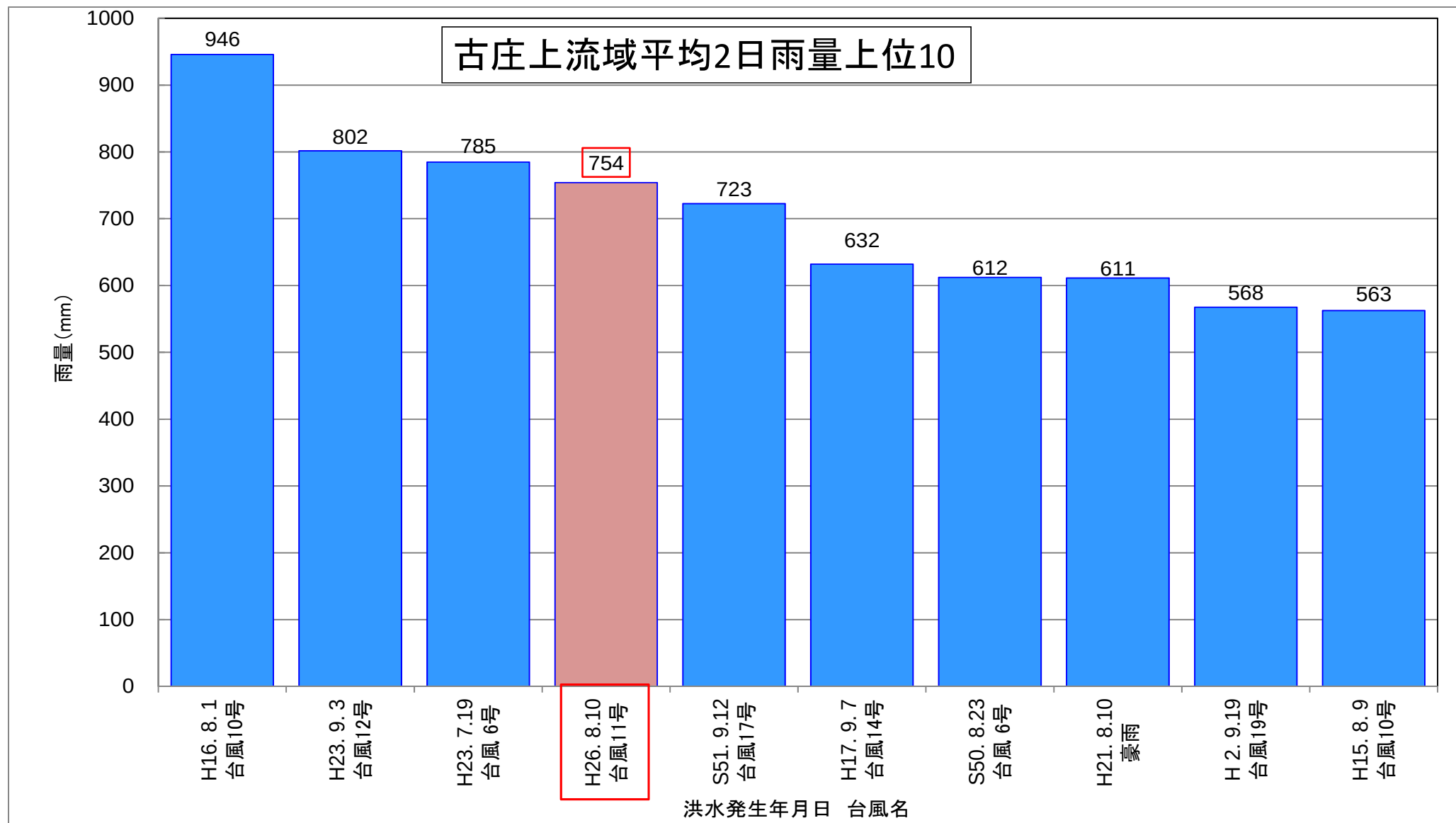


※国土交通省管理テレメータ観測所のみである。
※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

(2)降雨の状況について

2)古庄上流域平均2日雨量

雨は、8月9日15時頃より降り始め、8月10日9時までの降雨量は、**基準地点古庄観測所の上流域において754mm/2日の猛烈な豪雨となり、昭和5年の観測開始以降第4位を記録した。**

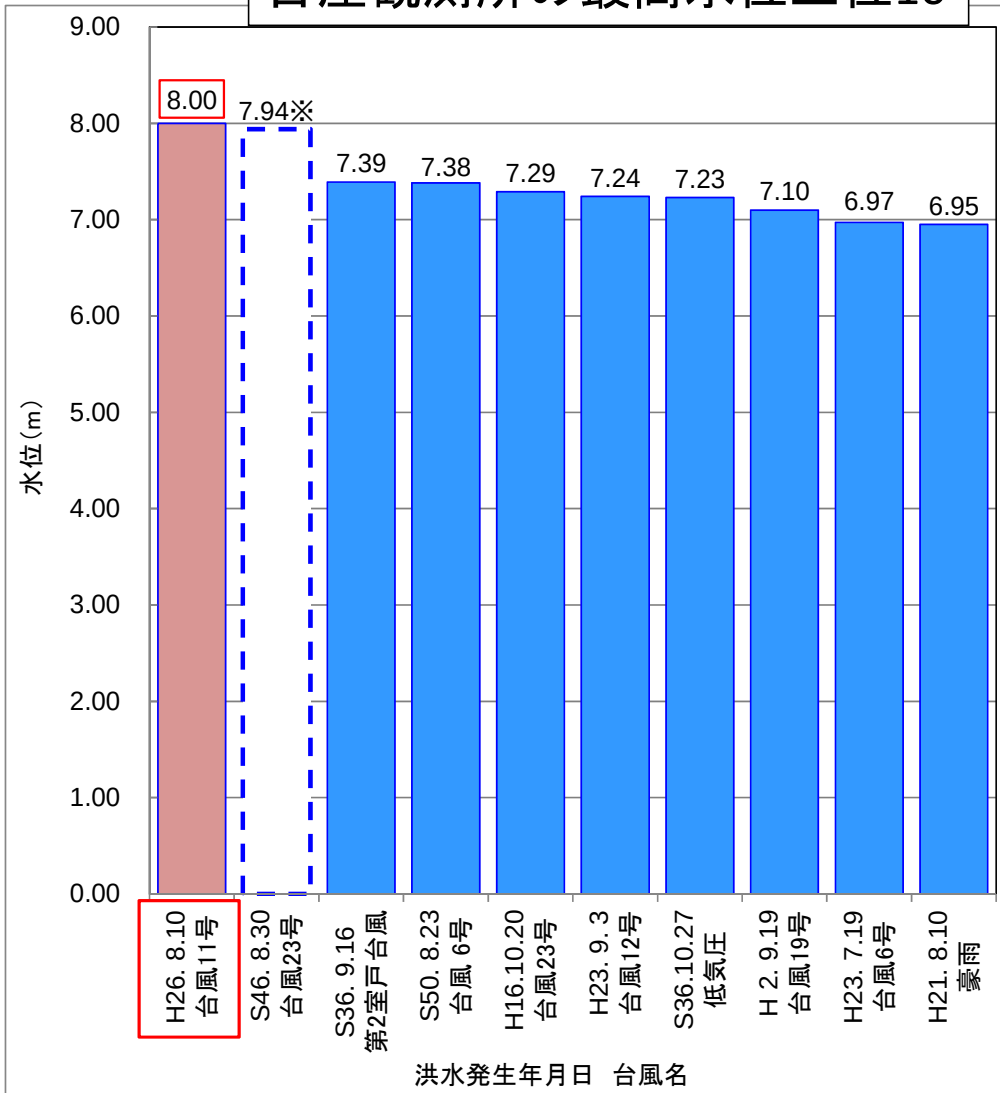


(3)河川水位の状況について

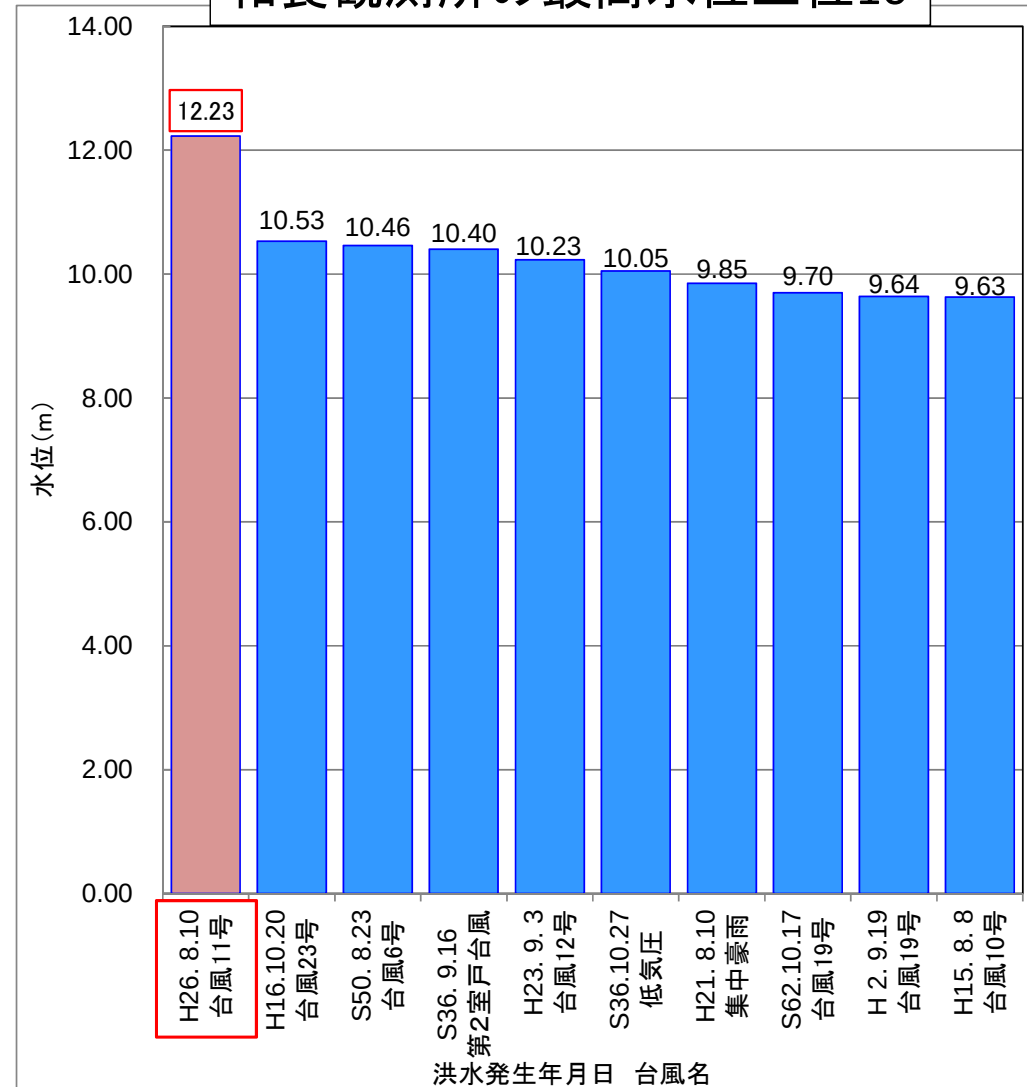
1)過去の洪水との比較(古庄観測所、和食観測所)

河口から7 kmの基準地点**古庄の水位は、昭和36年9月の第2室戸台風を上回る観測開始(昭和30年)以降最高の8.00mを記録。**
また、河口から31.6 kmの和食地点の水位も、観測開始(昭和35年)以降最高の12.23mを記録。

古庄観測所の最高水位上位10



和食観測所の最高水位上位10



※昭和46年8月台風23号の水位は読値であり参考値である。

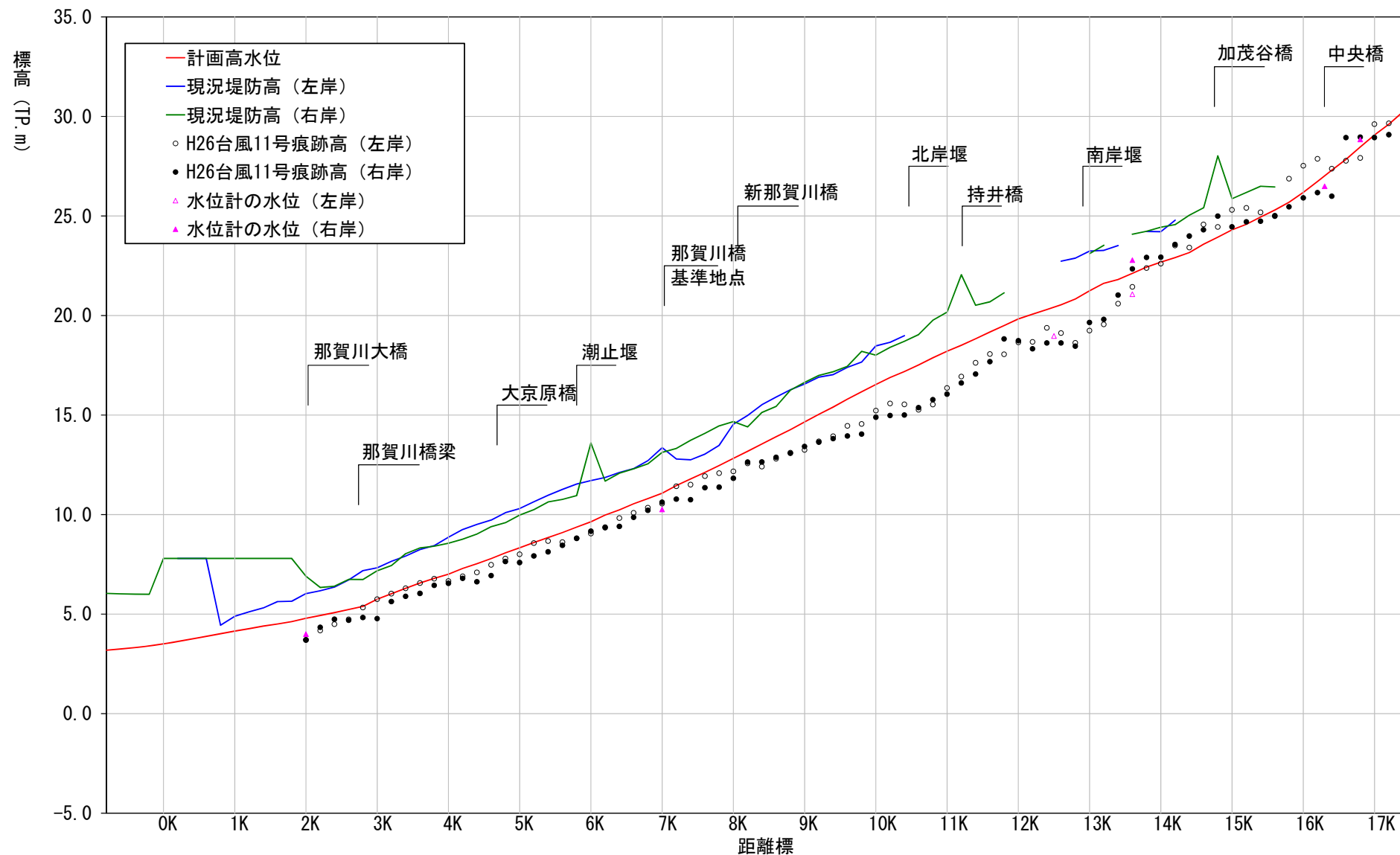
※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

(3)河川水位の状況について

2)河道内の痕跡水位

河口から17.5kmの直轄河川管理区間における洪水痕跡水位は、**13.6kmから17.5kmの約4kmの区間において、計画高水位を超過。**

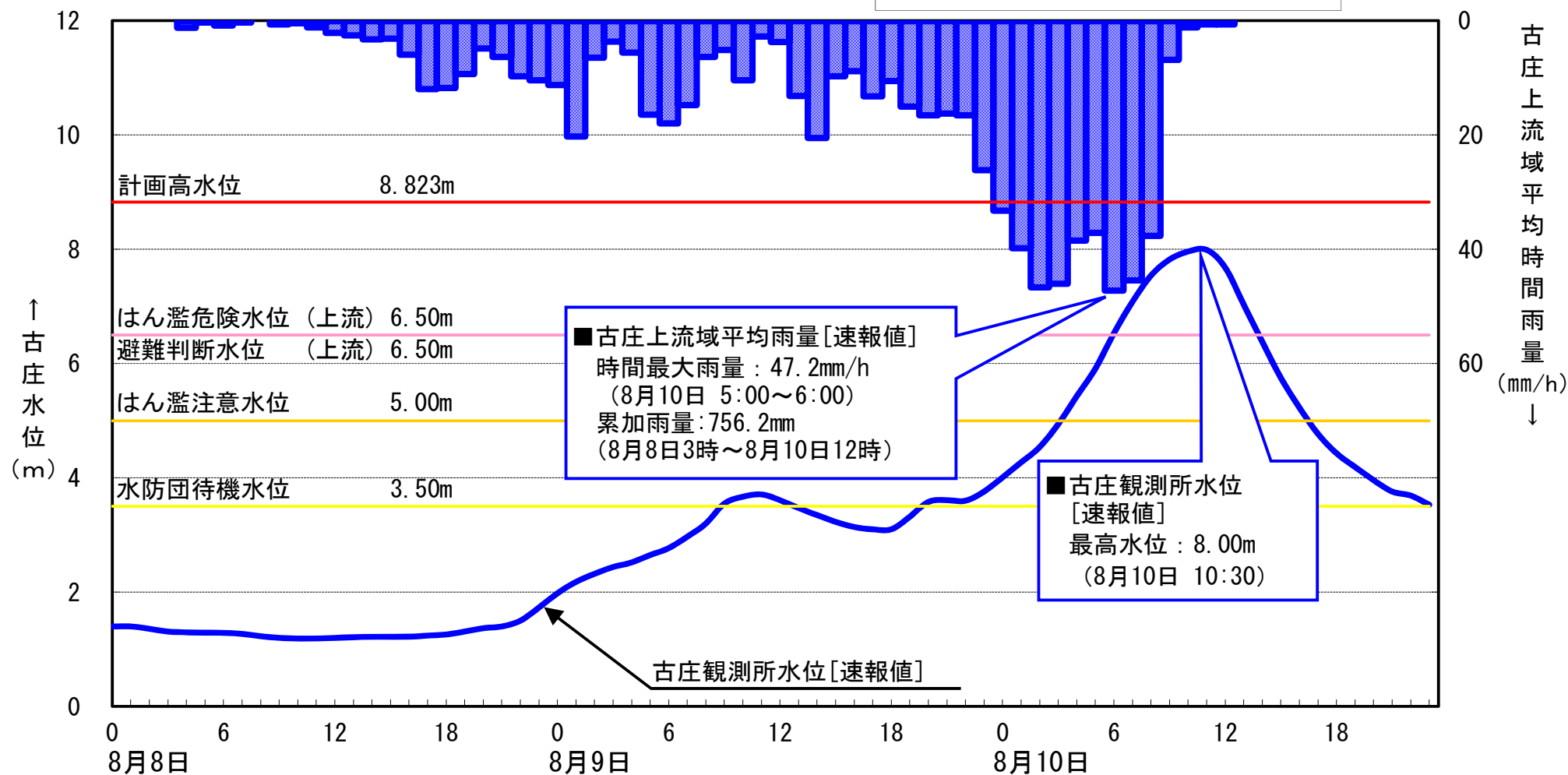
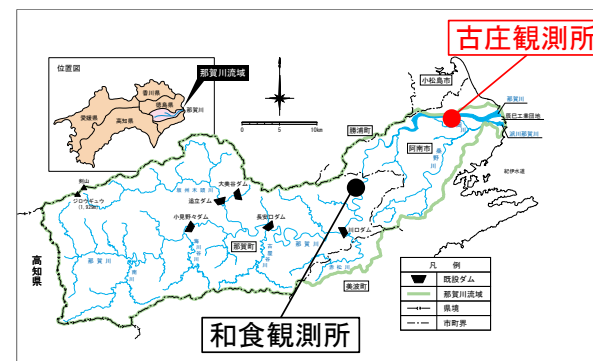
また、左岸3km付近では計画高水位まで上昇し、左岸5km付近、左岸7km付近については、計画高水位に迫る水位を記録。



※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。 5

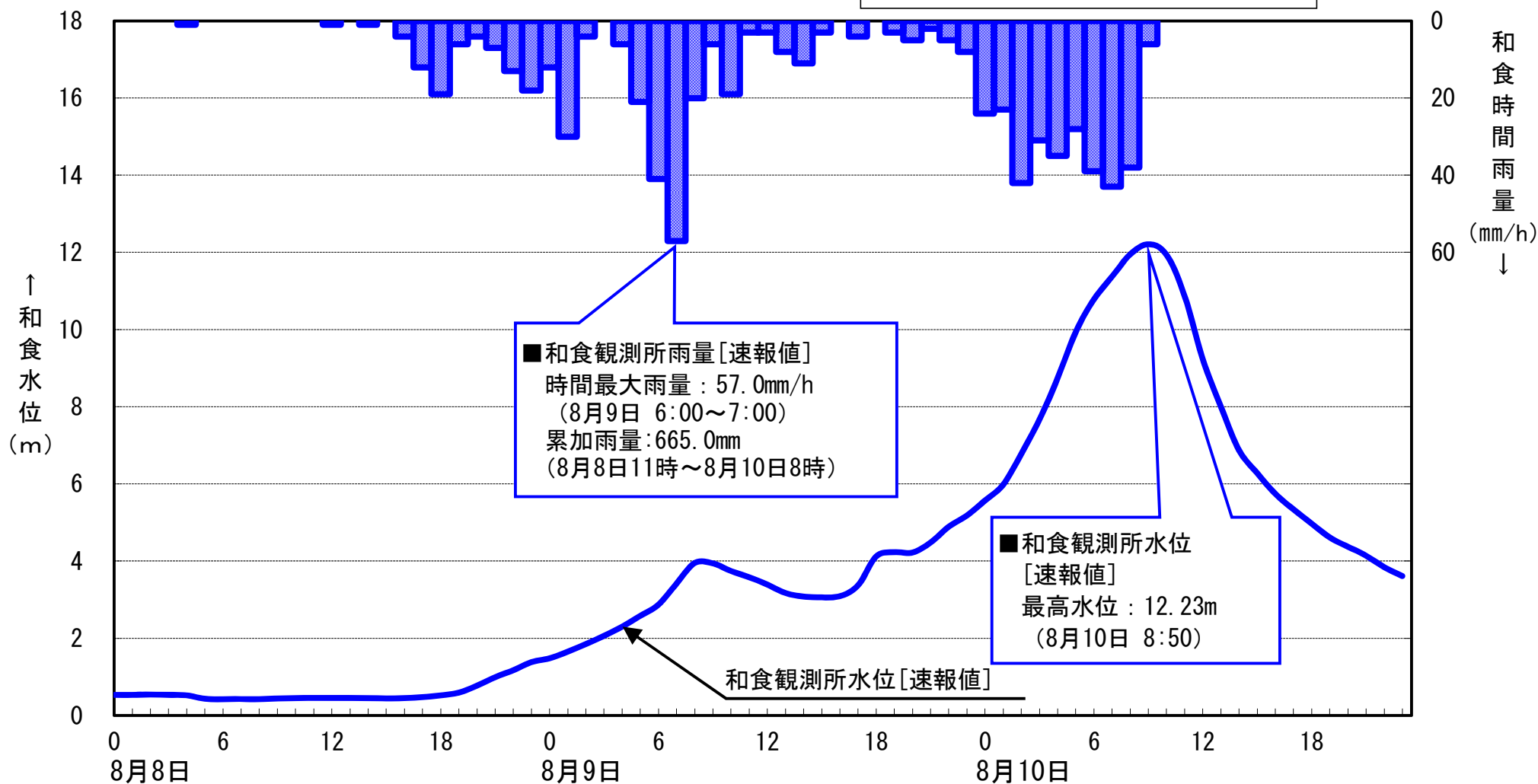
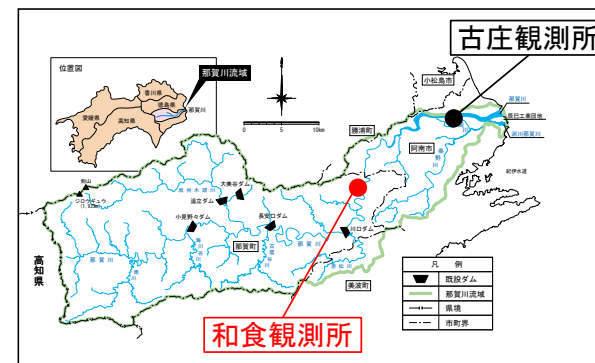
(3)河川水位の状況について

3)－1 水位状況(古庄観測所)



(3)河川水位の状況について

3)－2 水位状況(和食観測所)



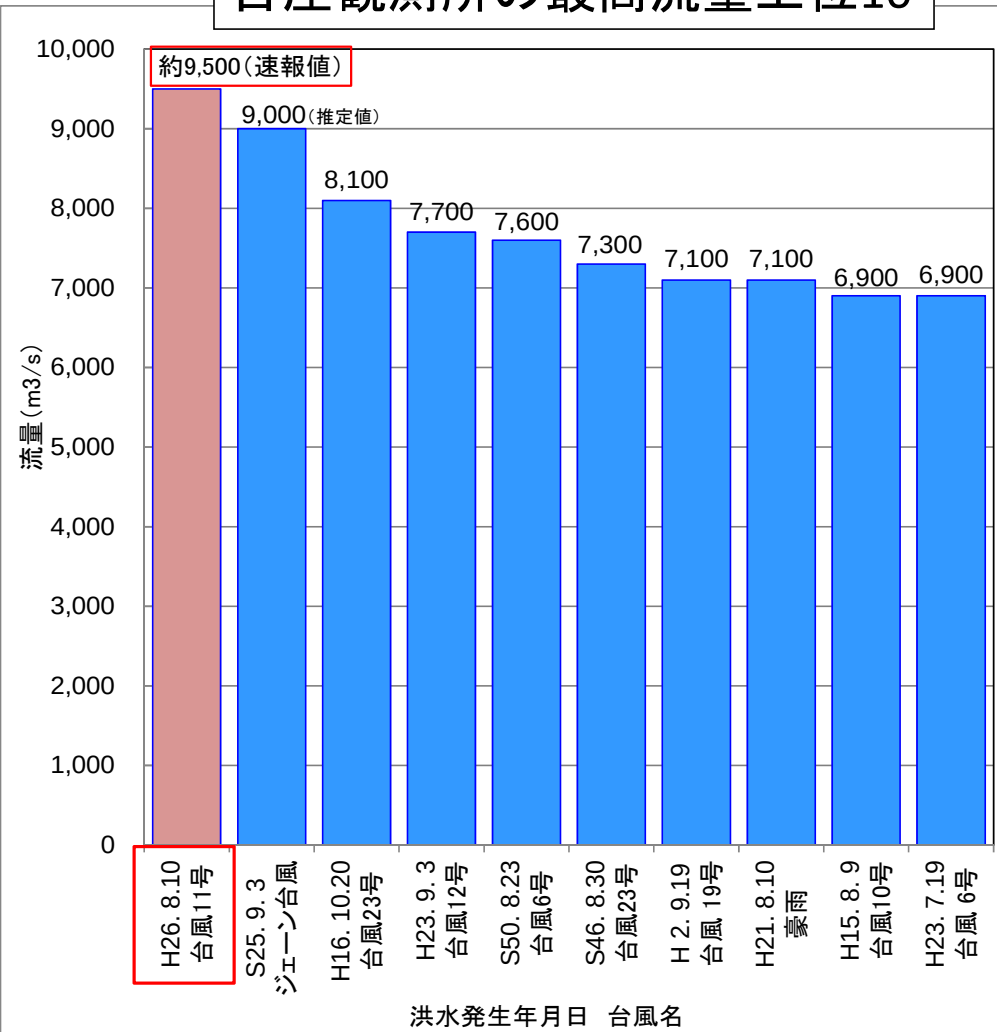
(4)河川流量の状況について

1)過去の洪水との比較(古庄観測所、和食観測所)

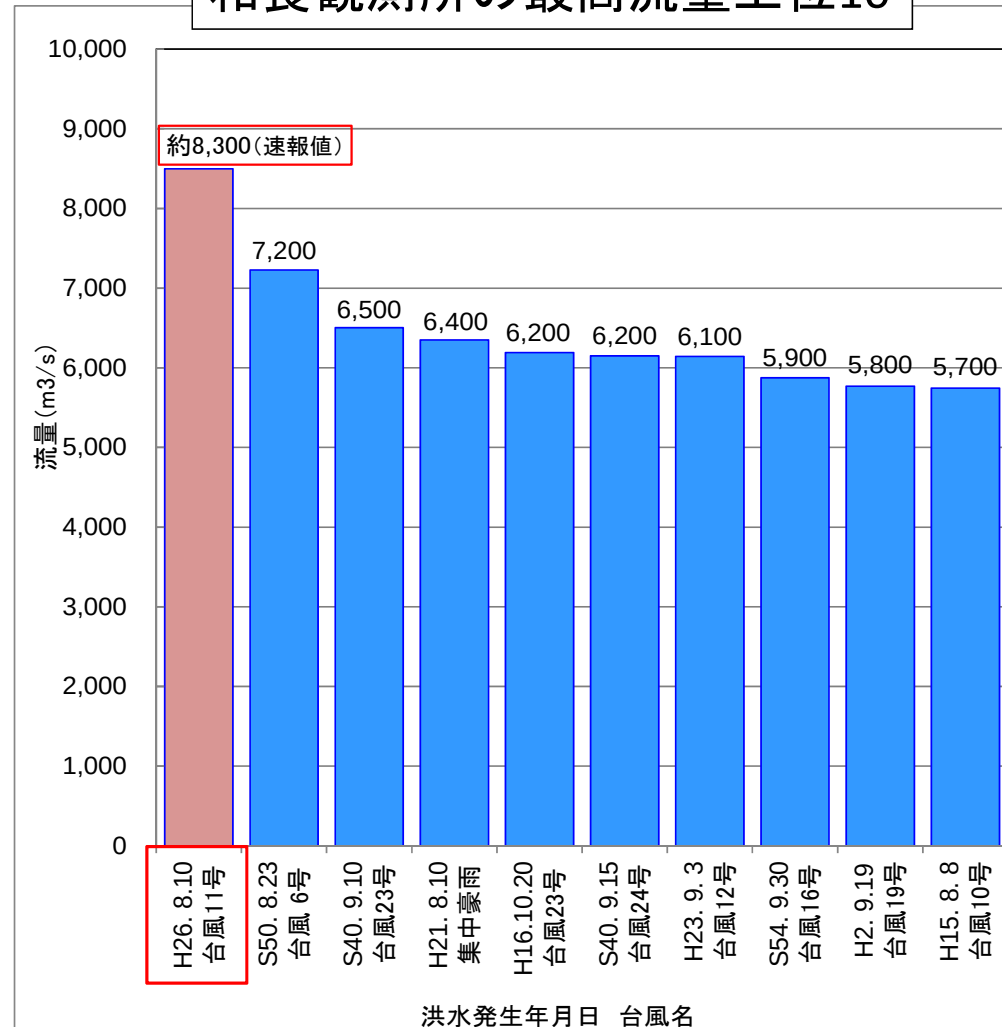
基準地点古庄の流量は、現行河川整備計画の目標流量である戦後最大規模（昭和25年9月ジェーン台風）の9,000m³/sを上回る約9,500m³/s（速報値）を記録。

また、和食地点の流量も観測開始(昭和37年)以降の最大約8,300m³/s（速報値）を記録し、現行河川整備計画の河川整備流量8,200m³/sを上回る流量を記録。

古庄観測所の最高流量上位10



和食観測所の最高流量上位10



※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

(5) 浸水被害の状況について

1) - 1 国管理区間(全体)

堤防が無い地区などで昭和36年9月第2室戸台風や昭和46年8月台風23号を上回る深刻な被害が発生。特に阿南市加茂地区では激甚な被害が発生。

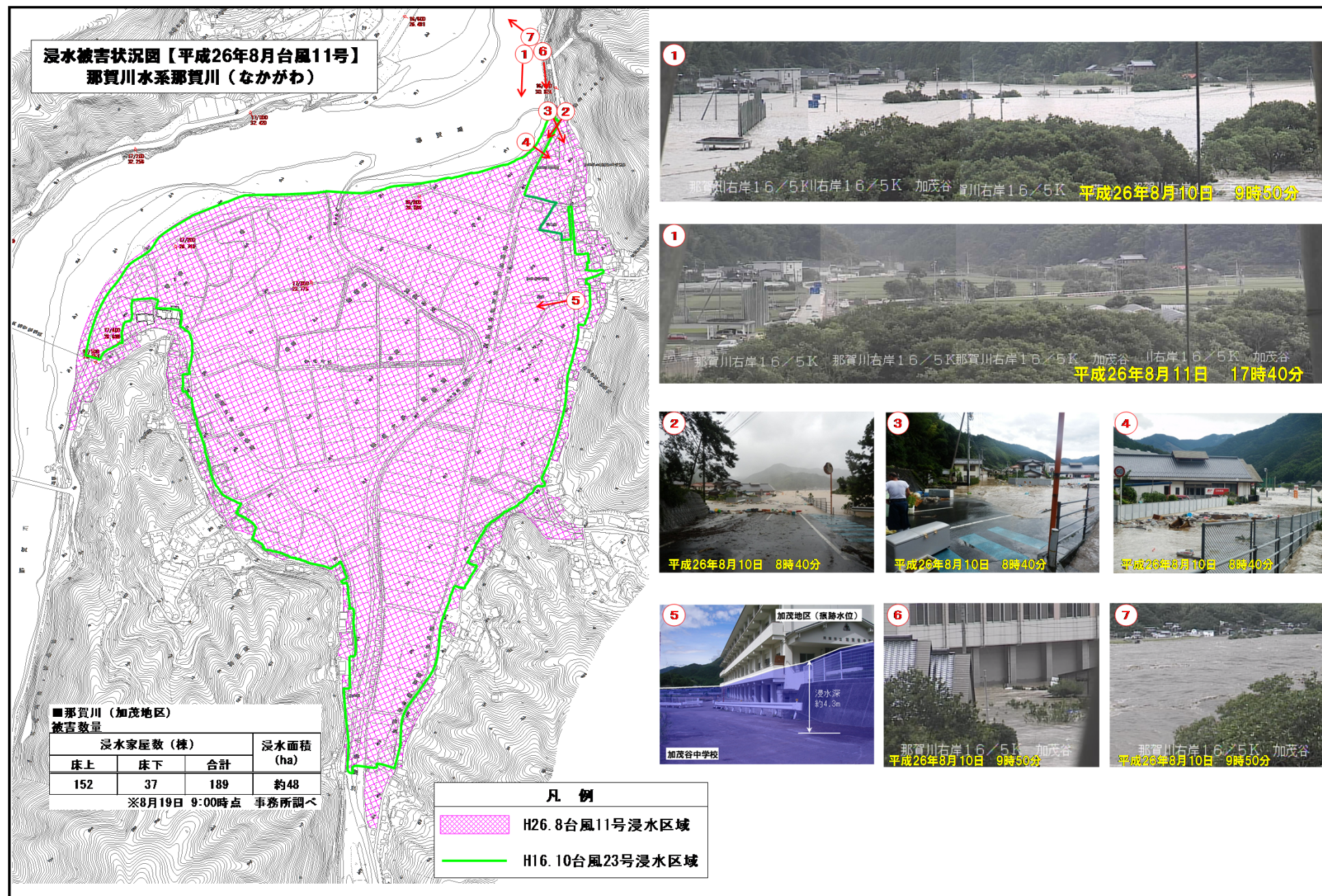


この地図は、測量法第29条に基づく複製承認を得て、国土院発行の5万分の1地形図を複製したもの（平25四復、第29号）を一部転載したものである。

※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。 9

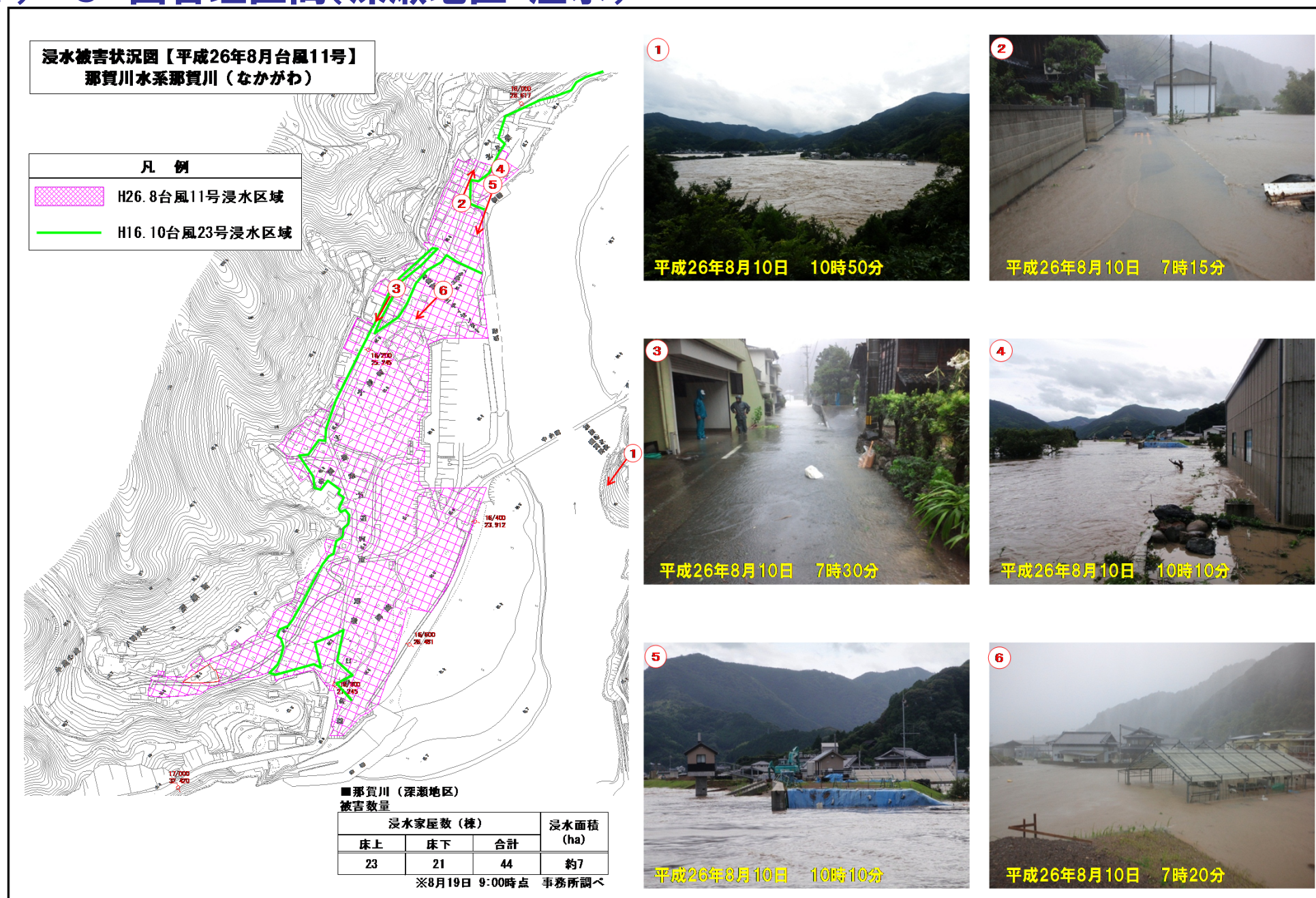
(5) 浸水被害の状況について

1) - 2 国管理区間(加茂地区: 溢水)



(5) 浸水被害の状況について

1) - 3 国管理区間(深瀬地区:溢水)



※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

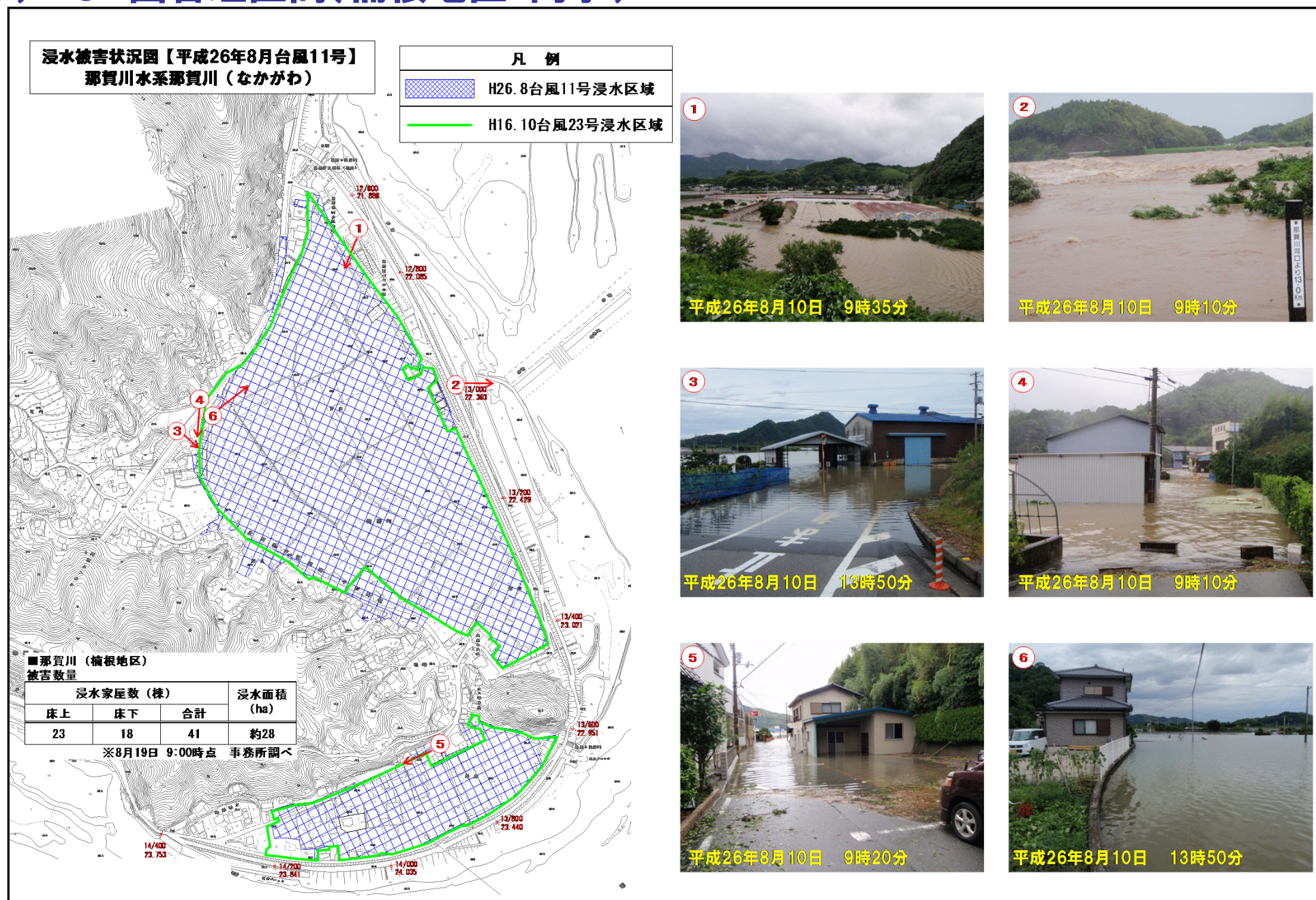
(5) 浸水被害の状況について

1) - 4 国管理区間(持井地区:溢水)



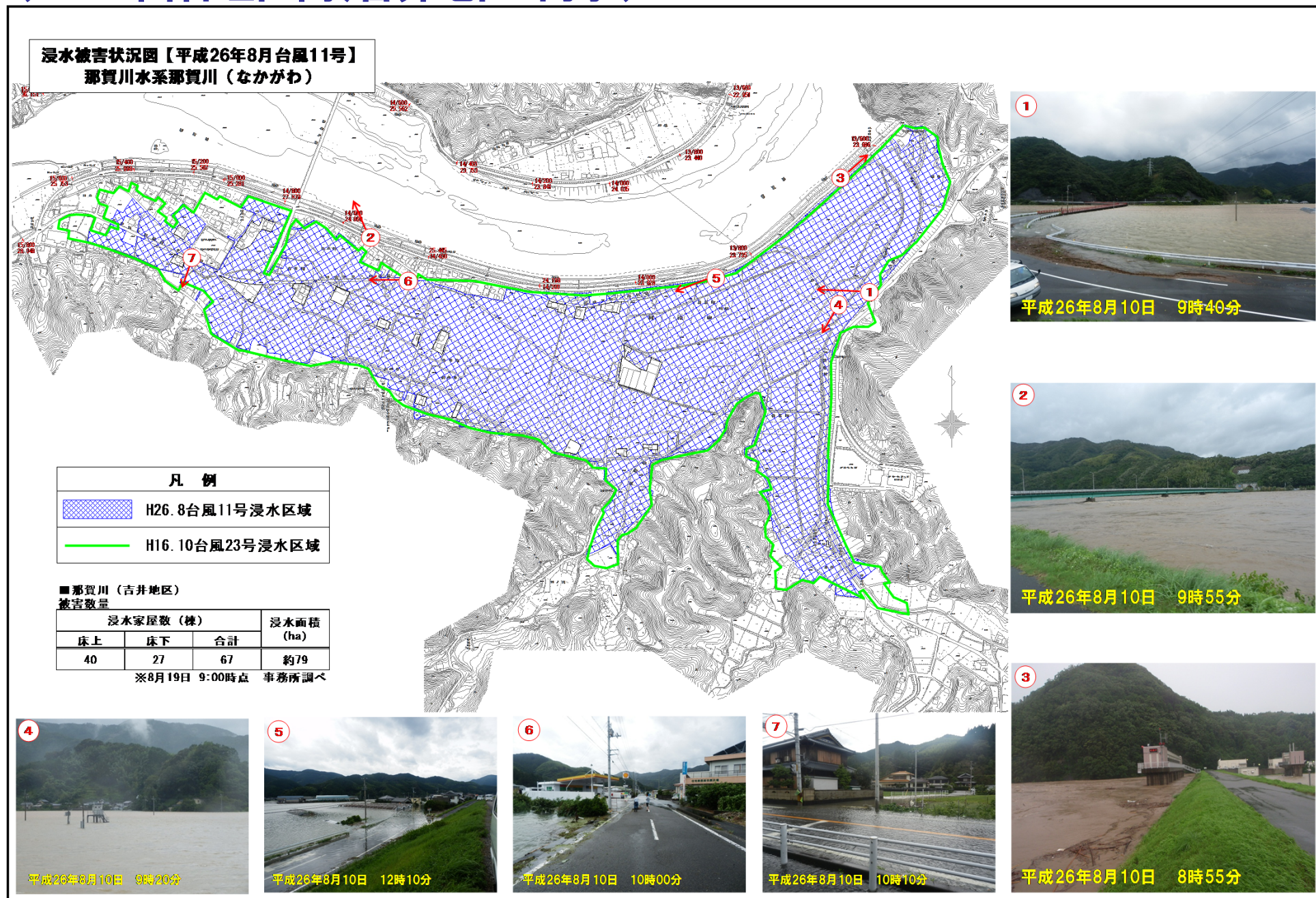
(5) 浸水被害の状況について

1) - 5 国管理区間(楠根地区:内水)



(5) 浸水被害の状況について

1) - 6 国管理区間(吉井地区:内水)



(5) 浸水被害の状況について

2) - 1 県管理区間(全体)

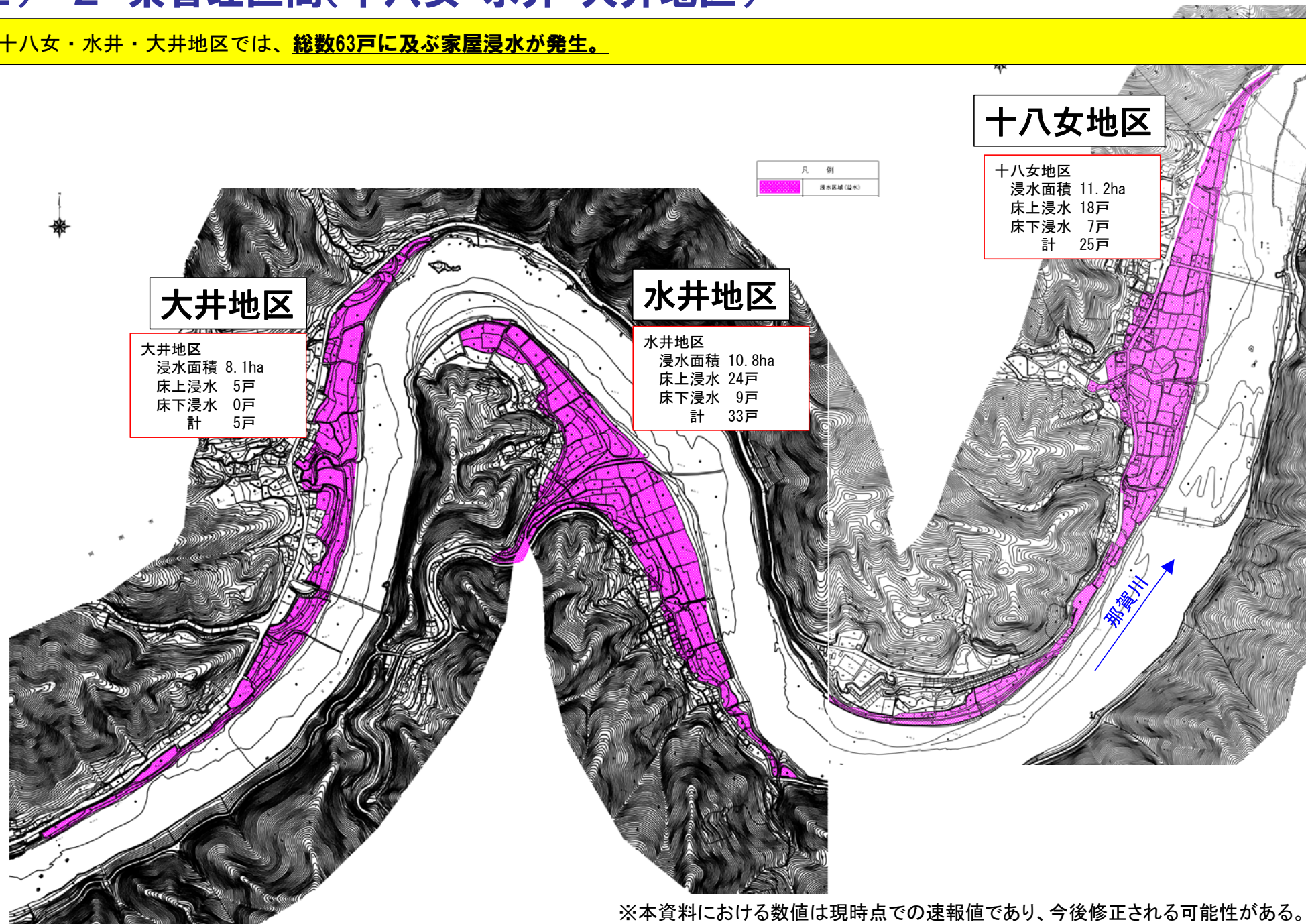
県管理区間においても、和食水位観測所にて観測開始以降の最高水位を記録しており、家屋浸水被害は、総数420戸程度に上っている。
特に那賀町和食・土佐地区において激甚な被害が発生。



(5) 浸水被害の状況について

2) - 2 県管理区間(十八女・水井・大井地区)

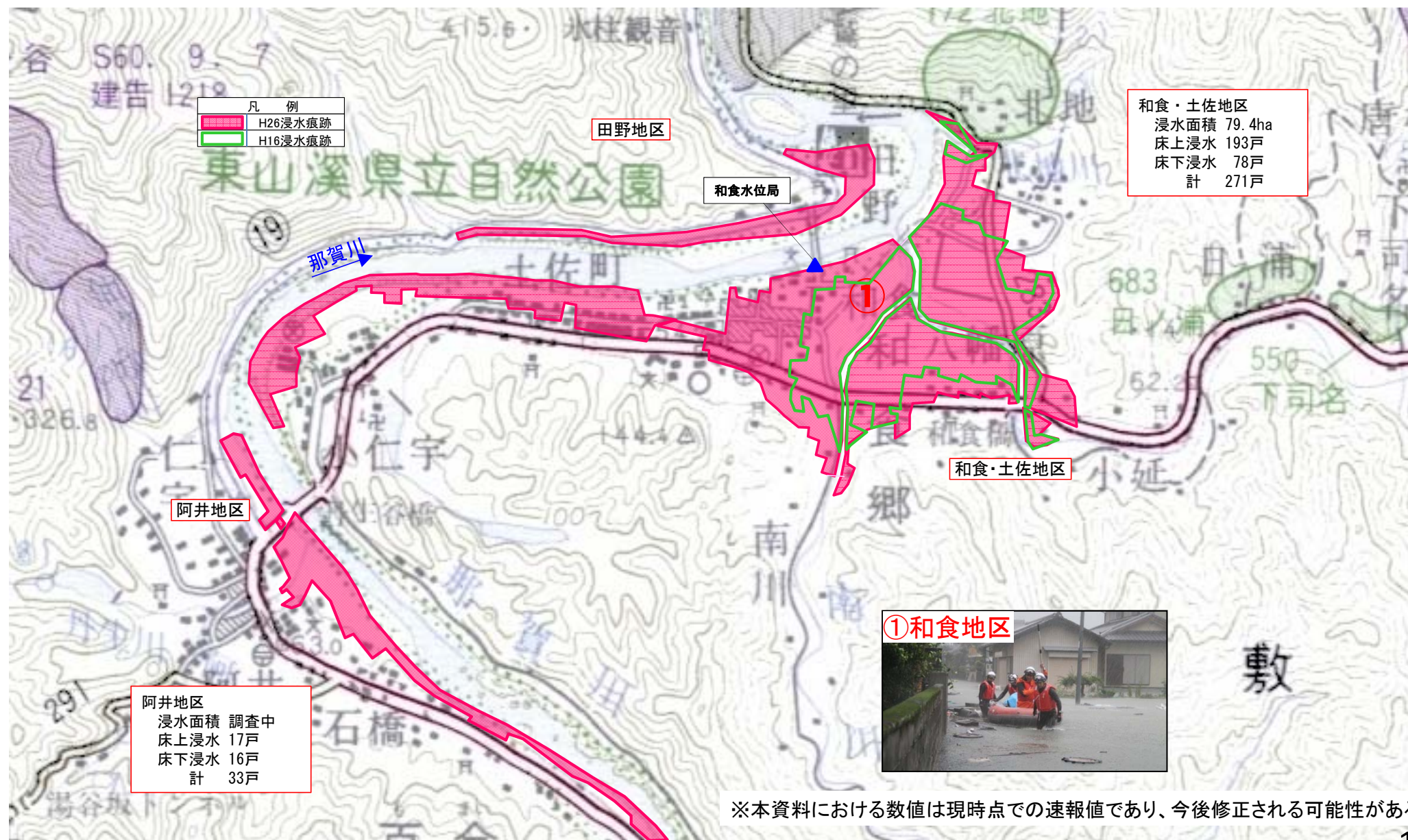
十八女・水井・大井地区では、総数63戸に及ぶ家屋浸水が発生。



(5) 浸水被害の状況について

2)－3 県管理区間(和食・土佐・阿井地区)

和食・土佐地区及び阿井地区では、総数304戸に及ぶ家屋浸水が発生し、甚大な被害が発生。



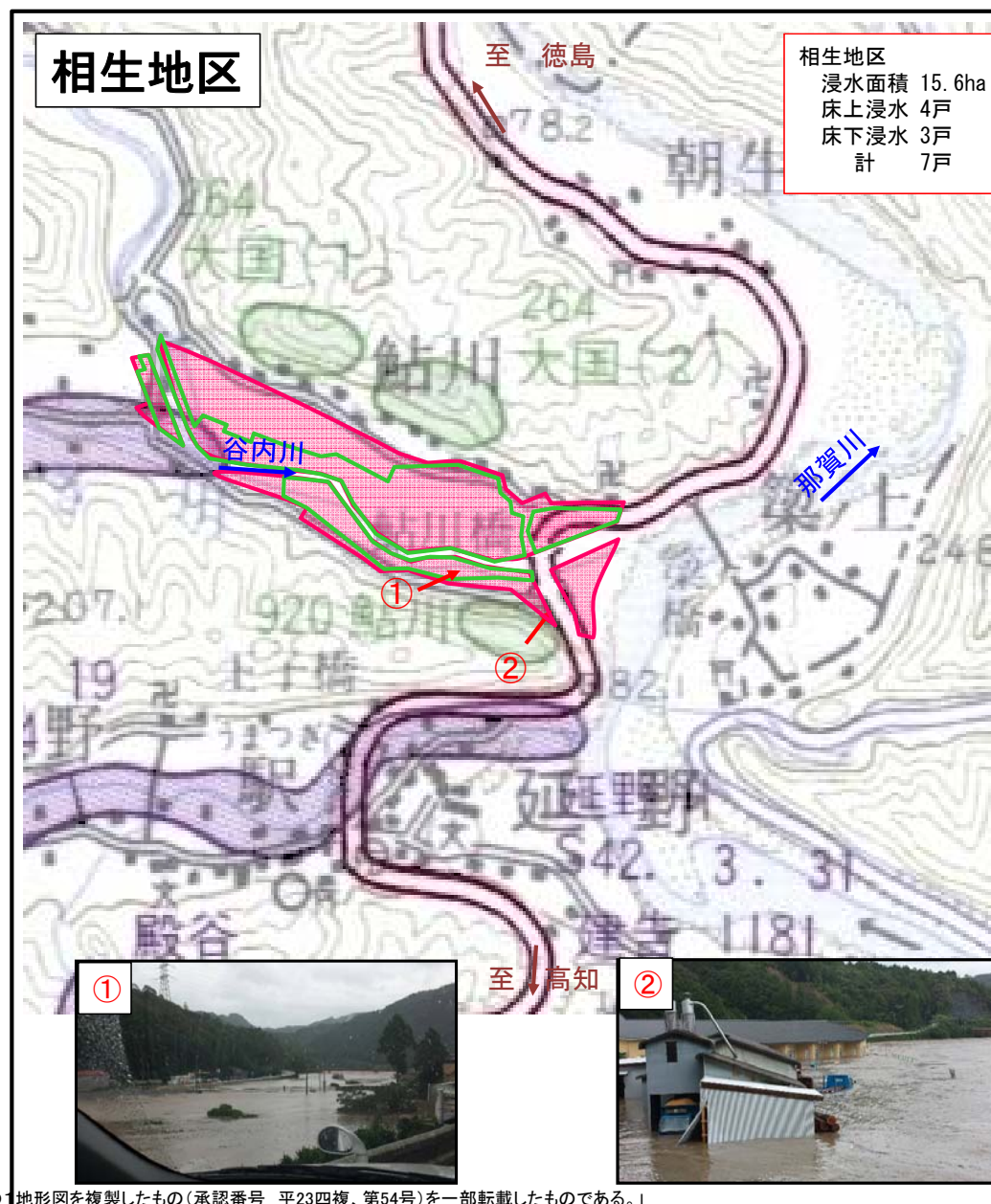
※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

(5) 浸水被害の状況について

2) - 4 県管理区間(相生地区)

相生地区では、総数7戸の家屋浸水は発生。特別養護老人ホームも床上浸水。

凡 例	
	H26浸水痕跡
	H16浸水痕跡

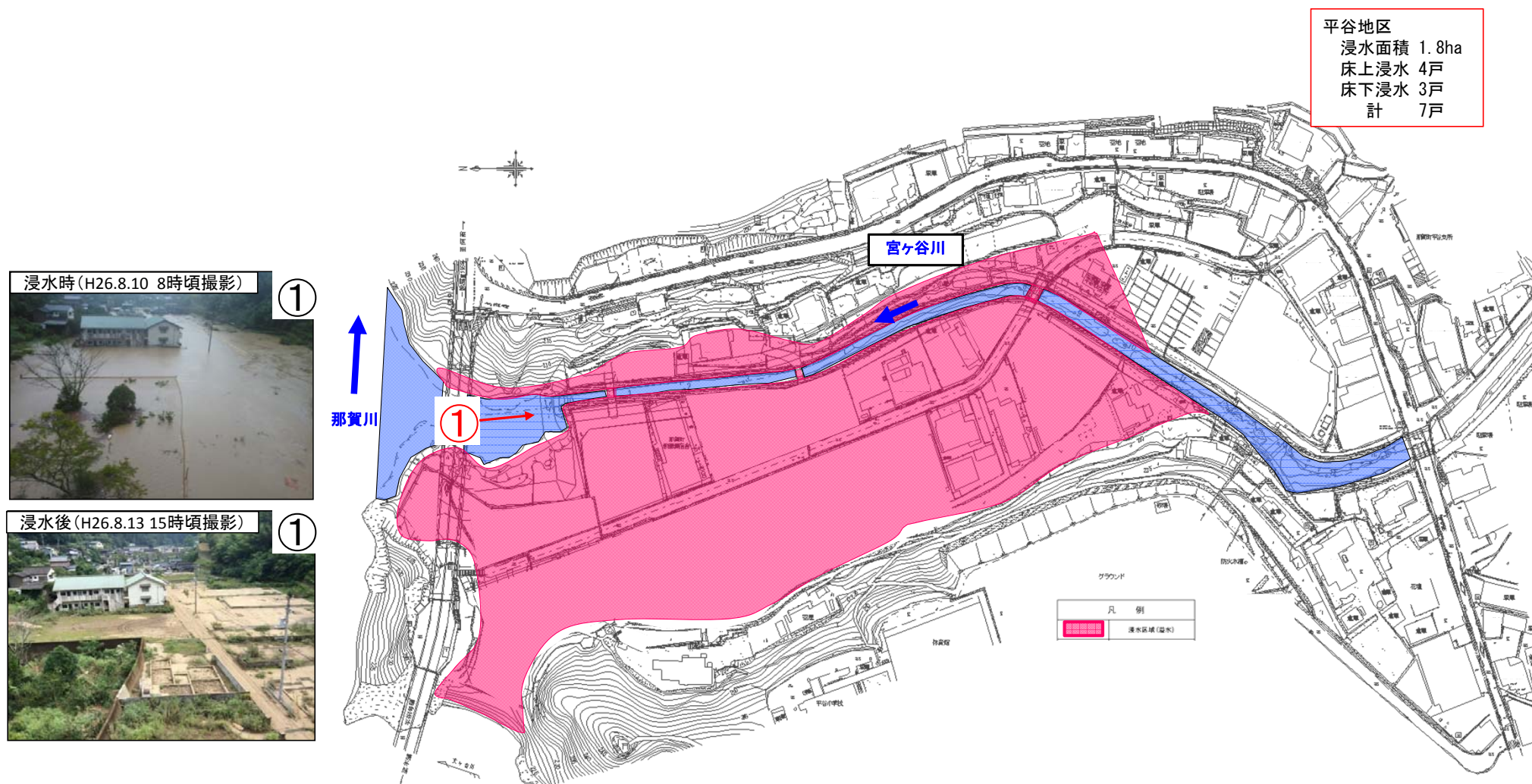


※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

(5) 浸水被害の状況について

2)－5 県管理区間(平谷地区)

平谷地区については、総数7戸程度の家屋浸水が発生。



(5) 浸水被害の状況について

2)－6 県管理区間(木頭出原地区)

木頭出原地区では、総数38戸に及ぶ家屋浸水が発生。

